

## 門司港地域複合公共施設整備事業について(報告)

門司港地域複合公共施設整備事業については、令和元年度から行った基本設計で、施設を建築できる敷地の範囲や施設配置の見直し、物価上昇等により、整備費が、約15.5億円の増額となった。そのため、本事業に係る経費縮減に向けて、令和3年度に検証業務を行うもの。

### 1. 検証業務

#### (1) 検証内容

門司区の新たな魅力となる複合公共施設になるように、基本設計のコンセプト等は継承させつつ、効率的な施設整備に取り組むために、経済性を含めた最適な平面計画及び施設配置の検討を行う。また、検証後の整備スケジュールについても併せて検討する。

#### 【基本設計の整備内容を活かす部分】

- ・ 周辺施設への回遊性に配慮することで、新たな賑わいを創出する。
- ・ 門司港レトロ地域の景観に調和させることで、地域の価値を高める。
- ・ 災害時に災害拠点機能や行政機能を維持させることで、門司区を支える。
- ・ 利用者の共同利用を促進させることで、複合公共施設の効率化を図る。

#### (2) 事業費

7,500万円

#### (3) 事業期間

8カ月間(令和3年6月から令和4年1月までを予定)

### 2. 今後のスケジュール

